

平成25年度 第1回 府中市防災会議 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成25年5月24日(金)午後3時から午後4時まで
- 2 開催場所 府中市中央防災センター災害対策本部室
- 3 出席委員 高野律雄会長 田原なるみ委員 吉野誠委員 町田昌敬委員
間宮和彦委員 鹿島宏之委員 後藤廣史委員 芦川伊智郎委員
桜田利彦委員 今坂英一委員 中川健介委員 青木浩一委員
浅沼昭夫委員 吉田義実委員 横田実委員 久保田良雄委員
吉野国広委員 野間秀郎委員 鎌田義恵委員 矢島千里委員
吉野浩委員
- 4 代理出席 3名
- 5 欠席 4名
- 6 事務局 関根行政管理部次長
石川防災危機管理課長
大沢防災危機管理課長補佐（兼）災害対策係長
福田危機対策係長
石阪地域防災計画担当理事
矢野東危機対策係主任
- 7 議 事
 - (1) 審議事項
「府中市地域防災計画」の修正について
 - (2) 報告事項
ア 平成25年度府中市災害対策主要事業について
イ その他
- 8 公開・非公開の別
公開（傍聴者の数 2名）

《会議内容（要旨）》

石川課長 大変お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただ今より、「平成25年度第1回府中市防災会議」を開催させていただきます。

はじめに、本会議の会長であります高野市長より、ご挨拶を頂戴したいと存じます。

会長、どうぞよろしく願いいたします。

（高野会長、挨拶）

石川課長 ありがとうございます。それでは、引き続きまして、今年度の第1回目の防災会議ということでございますので、委員の皆様から簡単に自己紹介をお願いしたいと存じます。

なお、本日、代理で出席されている方につきましても、同様に自己紹介をお願いしたいと思います。

それでは、恐れ入りますが、府中市教育委員会の浅沼教育長から、時計回りでお願いいたします。

(各委員より自己紹介)

石川課長 皆様どうもありがとうございます。それでは、これより議事に移らせていただきます。

高野会長、どうぞよろしくをお願いいたします。

高野会長 それでは、府中市防災会議運営規程第3条に基づき、議事につきましては、会長であります私が行わせていただきます。

皆様方のご協力により、円滑に会議を進めたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会議次第に基づき、議事(1)の審議事項「府中市地域防災計画の修正について」を議題といたします。

それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局、資料 - 1 に基づき説明)

高野会長 以上で説明が終わりました。何かご意見・ご質問はございますでしょうか。

吉田委員 大規模な災害に対しては、自助・共助・公助が大切となっております。東京消防庁では、ハイパーレスキューやヘリコプターの数を増やしており、府中消防署においても、特別救助隊を配備し、災害対応のレベルアップを図っています。自助・共助についてもレベルアップできるよう皆様方の協力をお願いいたします。

中川委員 府中市地域防災計画の修正にあたっての課題として、『避難者対策』の説明がありましたが、その中に、『避難場所』についての説明がなかったように思います。

府中市では、従来、いっとき集合場所・広域避難場所を定め、市民に周知してきたと思いますが、この避難場所については、今回の修正で何か見直す予定はないのでしょうか。

事務局 いっとき集合場所については、市立小中学校や都立高等学校などを、また、広域避難場所については、都立公園や緑地、大規模事業所の敷地内の空きスペースなどを指定し、市民に周知してきたところでございます。

しかしながら、広域避難場所については、インテリジェントパークや東芝、JRAなど、普段は市民が自由に出入りできない場所もあることなどから、現在、見直しを進めており、その中で、企業・団体との協議も進めているところでございます。

いずれにいたしましても、ご質問にありました、いっとき集合場所及び広域避難場所につきましては、何かしらの見直しを行うこととしており、その結果次第で、府中市地域防災計画の修正をはじめ、市内の看板や、市民に配布しているハザードマップの修正を行ってまいりたいと考えております。

中川委員 せっかくの全面的な修正の機会ですので、避難する市民にとって、よりわかりやすい避難計画、避難場所となるよう、見直ししていただければと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

芦川委員 別紙1-2の4ページの「カ 避難者対策」内の「二次避難所機能の強化」の項目において、現状として、文化センターにおける二次避難所としての機能が未整備であることから、見直しの方針として、既存福祉施設との協定を見直し、福祉避難所の受け入れ態勢の強化することが挙げられていますが、これはどういうイメージなのか教えてください。

事務局 現行の地域防災計画では、二次避難所として文化センターを指定していますが、文化センターには、福祉を専門とするスタッフや設備が整備されていない現状があります。そのため、平常時から福祉を業務としている老人福祉施設などと協議を行い、災害時に高齢者や障害者などで専門スタッフによる対応が必要となる方を受け入れてもらえるように、働きかけていくことが必要です。

なお、すでにいくつかの施設とは協定を締結済であるため、その拡充を図るなど、福祉避難所の受け入れ態勢を強化してまいりたいと考えております。

芦川委員 引き続き、福祉避難所についての整備を進めていただきますよう、よろしくお願いいたします。続いて、別紙1-2の3ページの「エ 医療救護等の対策」内に「災害医療コーディネーターの指定」とありますが、この概要について教えてください。

事務局 東日本大震災を受けて、東京都では、大規模災害時における区市町村との連携をより一層円滑にするため、医療コーディネーターを中心とした医療救護体制の構築を進めています。これは、東京都、二次保健医療圏、市町村の連携を図るため、医療コーディネーターという専門のスタッフを配置し、相互の連絡調整を行うというものです。

市においても市医療コーディネーターを設置しますが、市医療コーディネーターは、都医療コーディネーターと連携し、市内の被災状況に応じた人員・医薬品等の配分等の調整を図ってまいります。なおこの件については、すでに医師会や関係課と協議を進めており、医師会から市災害医療コーディネーターを選任して頂く予定となっております。

鎌田委員 東日本大震災でも明らかになったように、避難所の運営にあたっては、防災に関する知識を有するとともに、地域の実情を把握しているなど、運営を主導していくことができるリーダー的人材がいることが望ましいと考えます。このため、自主防災組織や自治体等を対象として、防災の知識を学ぶ機会を設けるなど、人材育成の仕組みが作れたら良いと思いますので、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

田原委員 災害時は、殺到する傷病者に効率的な医療を提供するため、重症者や軽症者を分類分けし、搬送先を予め決めておくこととしております。「災害拠点病院」は重症者を対応する場所となりますが、こちらに軽症者が搬送されてしまうと、一刻を争う重症者の対応に支障が出てしまいます。

そのため、「災害拠点病院」の機能がマヒしないよう、「災害拠点連携病院」、「災害医療支援病院」を別途指定し、重症者以外の患者について対応する、三層構造での医療体制を構築するよう、東京都において体制整備を進めておりますので、市においても、この整備の推進に協力をお願いいたします。

事務局 このことについては、現在、防災危機管理課、健康推進課、医師会における医療救護体制に係る協議の中で、整備を検討しているところでございます。本市の医療救護体制は、東京都の医療救護体制に準じた形で整備していく方針ですので、病院との連携についても、東京都との密な協力体制を築いていきたいと考えております。

吉野（浩）委員 自主防災組織の役員は2年単位で交代してしまうため、防災知識の習得が短期間しか行えません。防災知識の継承により、組織としての防災力向上を図っているところではございますが、役員による自助努力だけでは、より効果的な防災力を組織として学んでいくことは困難です。そこで、府中市地域防災計画の理念でもある「自助」「共助」の推進を、自主防災組織として取り組んでまいりたいと思いますので、ぜひともご指導・ご支援をお願いいたします。

事務局 現在、東京都において、自主防災組織の地域防災力向上を推進する事業を実施しております。本市といたしましては、従来から実施している、自主防災組織連絡会議における情報共有に加え、この東京都の事業の活用や、市民活動支援課との連携等により、自主防災組織の支援を行ってまいりたいと考えております。

高野会長 以上で、ご意見・ご質問はよろしいでしょうか。

それでは、お諮りいたします。「府中市地域防災計画の修正」について、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

高野会長 ご異議はないようですので、「府中市地域防災計画の修正について」は承認されました。

続きまして、議事(2)の報告事項のア「平成25年度府中市災害対策主要事業について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局、資料-2に基づき説明)

高野会長 以上で説明が終わりました。何かご意見・ご質問はございますでしょうか。

(質疑なし)

高野会長 質問等は特にないようですので、それでは、報告・了承とさせていただきます。

続きまして、議事(2)の報告事項イ「その他について」、事務局から何かありますか。

事務局 はい。それでは、資料はございませんが、「平成25年度の府中市総合防災訓練の日程等」について、報告させていただきます。

府中市総合防災訓練につきましては、9月1日の防災の日、及び、8月30日から9月5日の防災週間の直近の日曜日ということで、例年、8月末の日曜日に実施してきたところでございますが、真夏の暑い時期であり、参加者の健康が心配であること、また、夏休み期間中であり、家族で出かけている住民が多いこと、などを鑑みまして、今年度につきましては、少し時期をずらしまして、10月の27日の日曜日の午前9時から実施をしたいと考えております。

会場につきましては、前年度と同様、市立小中学校の3校で同時実施したいと考えており、今年度は、5小、2中、浅間中の3校での実施を予定しているところでございます。

なお、府中市総合防災訓練につきましては、『防災会議において「実施要領」を定め、この要領に従い実施する。』ということが、現行の「府中市地域防災計画」に規定されております。

そのため、次回の府中市防災会議において、今年度実施する総合防災訓練の実施要領をお示しし、詳細をご説明させていただく予定としておりますので、ご承知おきくださいますよう、よろしく願いいたします。

それでは、簡単ではございますが、以上で、「平成25年度府中市総合防災訓練の日程等」についての報告を終了させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

高野会長 以上で説明が終わりました。何かご意見・ご質問はございますでしょうか。

(質疑なし)

高野会長 質問等は特にないようですので、それでは、報告・了承とさせていただきます。

以上をもちまして、本会議の議事は全て終了いたしました。

最後に、「4のその他」ですが、事務局の方で何かありますか。

事務局 ありません。

高野会長 委員の方から、最後に何かございますでしょうか。

鎌田委員 今年度に入り、市内における火災の発生が多くなっているように思いますが、火災発生後の「り災者」への一時滞在施設のご案内について、取り決め等があれば教えてください。

事務局 市内の火災発生時には、消防署、消防団が消火活動を行いますが、防災危機管理課の担当者についても、現地に行き、り災された方の状況確認を行います。

その際、り災された方に身寄りがない場合は、矢崎町の防災倉庫に併設された会議室スペース、または、消防団の資器材等の管理場所である防災センターの2階を一次滞在施設としてご案内しています。また、関係課からの協力をいただき、高齢者施設や福祉施設で対応することもございます。

高野会長 以上で、ご意見・ご質問はよろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして、本会議を終了させていただきます。長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。